



## 藤田真央 ピアノ・リサイタル

わずか14歳でCDデビュー! 浜松国際ピアノアカデミーコンクール、クララ・ハスキル国際ピアノコンクール優勝! 故中村紘子氏も絶賛、世界が注目の19歳。

10/24 (水) 18:45開演

電気文化会館  
ザコンサートホール

Pコード 115-317  
Lコード 46100

入場料 ¥4,000 (全席指定・税込)

◆Program (予定)

ベートーヴェン:ピアノソナタ 第31番  
リスト:「巡礼の年 第2年 イタリア」よりベトラルカのソネット104番、  
ダンテを読んでーソナタ風幻想曲  
ショパン:4つのマズルカop.33、ピアノソナタ第3番

ドビュッシー没後100年記念

## パスカル・ロジェ ピアノ・リサイタル

～ドビュッシー・ピアノ名曲集

11/22 (木) 18:45開演

フランスを代表するピアニストが贈る、渾身のドビュッシー。ロジェの紡ぐ淡く美しい音色に包まれる、贅沢なひととき。

電気文化会館  
ザコンサートホール

Pコード 115-320  
Lコード 46101

入場料 ¥5,000 (全席指定・税込)

◆Program (予定)

ドビュッシー:ベルガマスク組曲「月の光」など、アラベスク第1番、  
喜びの島、「版画」より 塔、グラナダの夕べ、雨の庭、  
「映像第1集」より 水の反映、  
「前奏曲集第1集」より 亜麻色の髪の乙女、沈める寺 ほか



©武藤章



ヴァイオリン

ピアノ

## 木嶋真優 & 上原彩子 デュオ・リサイタル

10代からその才能が注目され、一昨年、上海アイザック・スターン国際ヴァイオリンコンクールで優勝した木嶋と、チャイコフスキー国際ピアノコンクール優勝後も飛躍しつづける上原。実力派二人にしかできない、贅沢なデュオ・リサイタル!

12/5 (水) 18:45開演

電気文化会館  
ザコンサートホール

Pコード 115-323  
Lコード 46102

入場料 ¥5,000 (全席指定・税込)

◆Program (予定)

チャイコフスキー:「なつかしい土地の思い出」より スケルツォ、メロディ  
クライスラー:愛の悲しみ、愛の喜び  
ラフマニノフ:コレルリの主題による変奏曲(ピアノ独奏)  
ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン・ソナタ ほか



©三浦興一

## 三浦一馬 キンテート ～タンゴ&ピアソラ

(バンドネオン五重奏)

ヴァイオリン:石田泰尚 コントラバス:高橋洋太 ピアノ:山田武彦 ギター:大坪純平

12/13 (木) 18:45開演

若手実力派バンドネオン奏者と4人の精鋭で贈る、タンゴとピアソラ。キンテートの洗練された、鮮やかなアンサンブルに酔いしれる一夜!

電気文化会館  
ザコンサートホール

Pコード 115-328  
Lコード 46103

入場料 ¥5,000 (全席指定・税込)

◆Program (予定)

ロドリゲス:ラ・クンパルシータ、モーレス:ウノ  
ガルデル:首の差で、わが懐かしのブエノスアイレス  
ピアソラ:92丁目通り、キチョ、天使の死、リベルタンゴ ほか



©井村重人

一般発売 6月23日(土)

チケットのお取扱い

CBCラヴァースショップ ☎052-242-1181 ローソンチケット ☎0570-084-004  
アイ・チケット ☎0570-00-5310 芸文プレイガイド ☎052-972-0430  
チケットぴあ ☎0570-02-9999 イープラス eplus.jp

お得な4公演通し券

◆アイ・チケット

(☎0570-00-5310)

合計19,000円→

17,000円

主催 CBCテレビ <http://hicbc.com>

協賛 大同特殊鋼 [www.daido.co.jp](http://www.daido.co.jp)

共催 電気文化会館(中電不動産株式会社)

協力 クラシック名古屋 CBCラジオ

お問合せ CBCテレビ 事業部

☎(052)241-8118 (平日10時~18時)

※やむを得ない事情で公演内容、出演者など変更になる場合がございますのでご了承ください。  
※未就学児のご入場は、ご同伴の場合でもお断りいたします。

## 藤田真央 (ピアノ)

Mao Fujita

2017年、東京音楽大学1年在学中に、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「モダンイズム賞(新曲賞)」の特別賞を受賞し、一躍世界の注目を浴びる。

2010年台湾で開催された世界クラシック ピアノ・コンクール(ジュニア部門)優勝、全日本学生音楽コンクール(小学校の部)第1位、2013年オーストリアで開催されたロザリオ・マルチアーノ国際ピアノ・コンクール、2015年中国で開催された若い音楽家のためのモーツァルト国際音楽コンクール第1位、2016年浜松国際ピアノアカデミーコンクール第1位、アメリカで開催されたジーナ・バッカウアー国際ヤングピアノコンクール第3位など、国内外での受賞を重ねる。国内はもとより、ショパン国際音楽祭(ポーランド)など、世界の音楽祭に招待されリサイタルを行っている。これまでに、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ユタ交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、マカオ管弦楽団等のオーケストラと共演。

現在、特別特待奨学生として東京音楽大学1年ピアノ演奏家コース・エクセレンスに在学中。ピアノを野島稔、鷲見加寿子、佐藤彦大の各氏に、ソルフェージュを西尾洋氏に師事。



©Shigeto Imura

## パスカル・ロジェ (ピアノ)

Pascal Rogé

パリ生まれ。パリ音楽院を首席卒業後、ジュリアス・カッチェンに師事。1971年ロン＝ティボー国際コンクールでの優勝をきっかけに、国際舞台で精力的な活動を開始する。

これまでに、パリ管、フランス国立管、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ウィーン響、ロンドン響、ロンドン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、NHK響などの主要オーケストラのほか、指揮者では、ロリン・マゼール、サイモン・ラトル、マリス・ヤンソンス、シャルル・デュワなどと共演。リサイタルではアメリカ、ヨーロッパ、南米、オーストラリア、ニュージーランド、そして日本のステージに定期的に登場する。

17歳で名門ロンドン／デッカの専属アーティストとなる。「サン＝サーンス:ピアノ協奏曲全集」「ブーランク:ピアノ作品全集」「ラヴェル:ピアノ作品全集」「サティ:ピアノ作品集」などをリリース。また、オニックス・クラシックスからは「ドビュッシー:ピアノ作品全集」(全5巻)をリリースし、高い評価を得ている。2017年冬、オクタヴィア・レコードより「ショパン&フォーレ:夜想曲集」をリリースした。これまでに、2回のグラモフォン賞、ディスク大賞、エディソン賞など多くの賞を獲得した。



©武藤 章

## 木嶋真優 (ヴァイオリン)

Mayu Kishima

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。神戸生まれ。3歳でヴァイオリンを始める。2000年第8回ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝。2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業。2015年秋には同大学院を満場一致の首席で卒業し、ドイツの国家演奏家資格を取得。2004年6月モスクワでスピヴァコフ指揮ロシアナショナル・フィルと共演し、地元紙では、「巨匠ロストロポーヴィッチが『世界で最も優れた若手ヴァイオリニスト』と絶賛するにふさわしく、見事なテクニックと成熟した解釈で聴衆を圧倒した。」と評される。現在日本とヨーロッパに拠点を置き、ルガノのマルタ・アルゲリッチ音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団等へ参加、さらにアメリカやアジアにもその活動の場を拡げている。使用楽器は、ストラディバリウス1700年製 Ex Petri(上野隆司博士より貸与)。



©TANKA.

## 上原彩子 (ピアノ)

Uehara Ayako

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2000年第5回浜松国際ピアノアカデミーコンクールでは、アカデミー史上、初のグランプリを受賞。また、シドニー国際ピアノコンクールにて第2位及びピープルズ・チョイス賞、オーストラリア人作品賞、室内楽賞、ショパン賞等各賞を受賞。2002年には、第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第1位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。その後も、ゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団、ベルリン・フィル八重奏団などと共演、2017年には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。



©三浦興一

## 三浦一馬 (バンドネオン)

Kazuma Miura

2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年イタリアで開催された第33回国際ピアノ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、世界的名手と共演し、大きな話題を呼んだ。

ビクターエンタテインメントより4枚のCDをリリース。セカンド・アルバム『ブエノスアイレスの四季』はレコード芸術誌にて特選盤に推薦されるなど評価は高い。

2012年には師のマルコーニと東京・兵庫・名古屋で競演を果たす。2016年、デビュー10周年にマルコーニと再びの競演で日本ツアーを開催。白熱した演奏で聴衆を沸かせた。

2015年出光音楽賞(2014年度)を受賞。

2017年自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を結成。

使用楽器は、恩師であるネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。



©井村重人